

明るい笑顔で登校



不登校対策専門員
尾台良左

不登校問題を考える

【子どもの教育環境づくりは大人の責任です】

最近、学校に行くことの理由が見つかからない子どもが増えてきています。

そのような子どもたちに、教育は誰のためにあるのか、何のために教育をするのかを大人の立場から理解できるように、導びいていくことが大切です。

わからないという子にはわかるようにし、学ぶことの喜びを味わわせてあげたいですね。自信を失っている子には、「あなたには、こんなすばらしい力があるのだよ」と、自信を回復させてあげたいですね。迷っている子には、その迷いをはらし、苦しんでいる子には苦しみに挑戦する勇氣を持たせてあげたいですね。苦しみを乗り越えることの

喜びを実感させ、「生きる力」を持たせてあげたいですね。

学校の学びが人生の出発点

人生とは、毎日が訓練です。自分自身の訓練の場です。失敗もできる訓練の場です。生きていることを喜び訓練の場です。

今の幸せを喜ぶこともなく、いつどこで幸せになれるのでしょうか。

この喜びをもとに最善をつくし、全力で進む意欲が大切です。

自分自身の将来は、この瞬間にあるのです。

明るい笑顔で登校して、勉強・スポーツに専念し、努力することによって、自分の夢に近づくのです。

子どもの元気を取り戻したい

【30年前の子ども】

●自然の中でさまざまな遊び

にのめり込んでいた。異年齢のたくさんの仲間とかわっていた。

●体を動かした後のご飯が、おいしかった。

●ぐっすり眠って、元気に育っていた。

【現代の子ども】

●ライフスタイルの崩壊、核家族による会話の減少。

●体力低下、運動する子と運動しない子の二極化。

●柔軟性、敏捷性の能力低下。

歩数減少(平均歩数)

●30年前 2万5千歩

●現代 7千〜8千歩

●子どもの高血圧症、糖尿病などの生活習慣病の増大。

●自動化、情報化、効率化の中で便利になった反面、人間らしく生きることが奪われてきている。

●我慢ができず、辛いことから逃避する子どもが増えてきている。

子どもの自己決定を大切に

【自己変革】

●変えることのできないものを、素直に受け入れる心の落ち着き。

●変えることのできるものは、敢然と変えていく勇氣。

●変えることのできるものと、できないものを、見分ける賢明さ。

子どもの自己決定の瞬間を温かくサポートしてあげましょう。

不登校未然防止のために

【学校と家庭の連携】

●子どもの育ちや生活の問題点を関連づけ、生活全体をトータルに捉え改善していくことが大切です。

学校だけ、家庭だけで解決しようとしても難しいため、学校と家庭の連携によって解決することが大切です。

●子どもの問題は大人の問題でもあるという捉え方をし、理解することが大切です。子どもだけを変えようとして、大人が子どもと一緒に生活を見直し、一緒に取り組んでいくことが大切です。

家庭に三つの太陽と心を

- 一、愛情の太陽
 - 二、喜びの太陽
 - 三、希望の太陽
- 一、感謝の心
 - 二、奉仕の心
 - 三、畏敬の心

子どもの成長の糧の「三つの太陽と心」を家庭に降り注いでほしいです。

教育相談窓口について

教育相談は、心理相談員が左記の日程で相談に応じています。

●自身の学校での悩みや、お子さんについて心配なことをお気軽にご相談ください。

相談日・相談時間

相談日：水曜日

相談時間：午後2時〜5時

相談場所：心理相談室

相談料：無料

あらかじめ電話で相談日時を決めます。水曜日、午後2時〜4時30分の間にお電話ください。

予約問い合わせ先

エコールみやた生涯学習係(32) 2770 または(32) 9100へかけていただき、心理相談室内線117番へ繋ぐようお願いください。

春の火災予防運動・山火事予防運動

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、3月1日から7日まで全国一斉に春の火災予防運動と山火事予防運動が実施されます。火災予防運動は、火災の発生を防止し、火災による死者や負傷者を減少させることを目的に実施されています。山火事予防運動は、国民の山火事予防意識を高めることと、予防対策を強化して森林を保全することを目的として実施されています。

消防庁によると、全国の山火事の発生状況は、秋の終わりから増えはじめ、春先に多く発生しています。これは、冬季は森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることや空気が乾燥した状態になること、また、春先は、行楽や山菜採りのために山に入る人が増えるほか、農作業で行われる火入れ(土地を肥やすため山野の枯草や雑木を焼くこと)などが山林に飛び火することが原因といわれています。林野火災の発生原因をみると、「たき火」が最も多く、次いで「火入れ」、「放火(疑いを含む)」、「たばこ」などとなっており、林野火災の多くが人間の不注意で発生していることがわかります。火入れなど山際で火を扱う場合には、周りに枯れ草や燃えやすいものがあれば除去し、終わったあとはきちんと消火できているか必ず確認しましょう。

東日本大震災発生から2年を迎えようとしていますが、この未曾有の大震災を風化させないためにも、防災意識が高まっているこの時季にあわせて、皆さん一人ひとりが防火・防災意識の高揚を図っていきましょう。

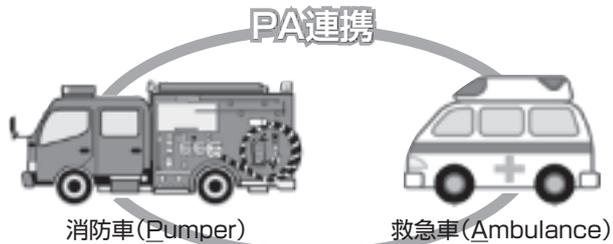
消すまでは 出ない行かない 離れない (平成24年度全国統一防火標語)

《そもそも、火災予防運動とは?》

火災予防運動は、春と秋の年2回、全国一斉に実施されます。春については、3月1日から7日までですが、これは消防記念日として制定されている3月7日にちなんだものです。秋については、11月9日から15日までですが、消防・救急に関する緊急通報用電話番号である「119番」にちなんだ語呂合わせにより定められた「119番の日」に由来したものであり、春・秋それぞれ、国民の消防全般に対する正しい理解と認識を深め、住民の防災意識の高揚を図ることを目的として設けられています。

《救急車を頼んだら、消防車も来て驚いた…》

「救急要請をして救急車を呼んだのに、消防車も一緒に来て驚いた…」。「PA連携」と呼ぶこの出動方法は、消防隊(Pumper)と救急隊(Ambulance)が協力して現場活動を行うことをいいます。御代田消防署では、119番通報の内容から、救急車と一緒に、消防車の出動もあわせて指令を出します。こういった内容で判断するかというと、心臓や呼吸が止まってしまった、といった特に緊急を要する場合や、階段を下ろすのが困難と判断された場合などに出動します。普段、救急車には、3名の救急隊員が乗車していますが、このPA連携の出動方法により、より円滑に現場活動が行え、結果的に、救命率のアップや搬送時における傷病者の苦痛の軽減など住民サービスの向上につながっています。



地震を体感しよう

地震体験車が御代田町にやってきます。

- 3月15日(金)役場職員駐車場 午後2時~4時
- 16日(土)エコールみよた 午前10時~午後2時
- 17日(日)エコールみよた 午前10時~正午

予約は必要ありません。ご家族そろって体験しにきてください。

